

令和2年度水質事故発生状況

令和2年度に発生した水質事故は45件でした。

1 水系別水質事故発生件数

水系別では、多摩川水系で17件、東京湾で17件、鶴見川水系で11件の水質事故が発生しました。

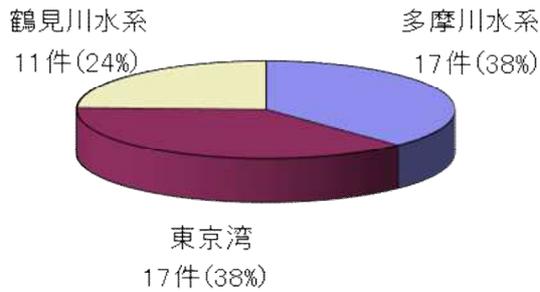


図1 水系別水質事故発生件数

2 種類別水質事故発生件数

種類別については、油浮遊が19件、着色水が11件、濁水が2件、pH異常が4件、地下浸透が3件、その他が6件でした。

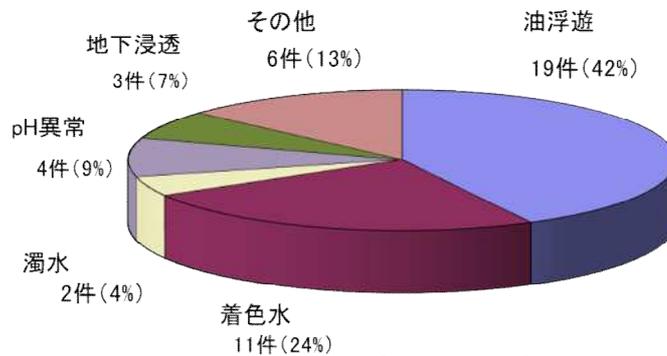


図2 種類別水質事故発生件数

3 原因別水質事故発生件数

原因が判明した水質事故は28件で、工場・事業場が21件、建設工事が2件、船舶が2件、その他が3件でした。また、原因不明の水質事故は17件で全体の38%でした。

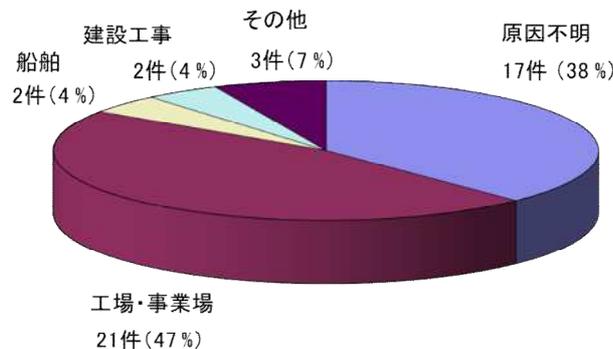


図3 原因別水質事故発生件数

4 3ヶ月ごとの水質事故発生件数

3ヶ月ごとの事故の発生件数は次の表のとおりでした。

表1 水系別水質事故発生件数

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	計
東京湾	2	9	1	5	17
多摩川水系	5	4	5	3	17
鶴見川水系	4	3	2	2	11
計	11	16	8	10	45

表2 種類別水質事故発生件数

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	計
油浮遊	3	9	4	3	19
着色水	3	2	3	3	11
濁水	2	0	0	0	2
魚死亡	0	0	0	0	0
PH異常	0	2	1	1	4
地下浸透	1	1	0	1	3
その他	2	2	0	2	6
計	11	16	8	10	45

表3 原因別水質事故発生件数

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	計
船舶	0	2	0	0	2
建設工事	0	1	1	0	2
工場・事業場	5	8	2	6	21
その他	2	0	1	0	3
原因不明	4	5	4	4	17
計	11	16	8	10	45